

心 理 学 専 攻	D P	II. Iの能力を備えて修了することを保証するための審査と審査の基準
		博士前期課程
	D P	博士前期課程において作成された修士論文が、以下1～3の内容基準に照らし合わせて十分条件を満足していること。 1. テーマ（問題）設定に論理的妥当性があり、先行研究の精査を踏まえ、テーマに適したデータ・資料が取り扱われている。 2. 信頼できるデータ・資料をもとに分析・解釈が妥当性をもって行われている。 3. 導き出された結論にオリジナリティがあり、学術的貢献度が高いと認められる。
		博士後期課程
	D P	博士後期課程において作成された学位論文が、以下1～3の内容基準に照らし合わせて十分条件を満足していること。 1. テーマ（問題）設定に論理的妥当性があり、先行研究の精査を踏まえ、テーマに即したデータ・資料が適切に取り扱われている。 2. 信頼できるデータ・資料に対して専門的検討が加えられ、分析・解釈が妥当性をもって行われている。 3. 導き出された結論にオリジナリティがあり、学術的観点から見て貢献度が特に高いと認められる。
		学修教育目標およびDPのもとに必要な教育カリキュラムの基本
	C P	国際人間学研究科心理学専攻の教育研究上の目的に基づく学修教育目標ならびにそれに関わるディプロマポリシーに鑑み、心理学に関わる種々の課題を理論と実践の両面から思考し、また応用できる能力を養うため、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。
		博士前期課程
	C P	以下科目を体系的に配置し、学修教育目標とディプロマポリシーの総合的な達成を図るカリキュラムとする。 1. 教育心理学、認知心理学、社会心理学、発達心理学、臨床心理学など 学校 心理学専門科目 2. 研究指導、課題指導の特別研究科目 3. 日本語論文の書き方を中心とする研究科共通科目
		博士後期課程
C P	以下科目を専門分野別に設定し、学修教育目標とディプロマポリシーの総合的な達成を図るカリキュラムとする。 1. 教育心理学専門研究科目 2. 認知心理学専門研究科目 3. 学習心理学専門研究科目 4. 臨床心理学専門研究科目	
歴 史 学 ・ 地 理 学 専 攻	D P	I. 学則に定めた教育研究上の目的および学生便覧に掲げた学修教育目標のもとで以下能力を備えた人間を養成する。
		博士前期課程
	D P	1. 世界的スケールで展開されてきた歴史的事象や日本国内において歴史的に繰り返されてきた種々の現象に対して造詣が深く、社会や教育の場で知識を生かすことができる。 2. 様々な地域的スケールで生じている社会、経済、文化的現象を空間的に理解・解釈できる能力を備え、その能力を社会や教育の場で生かすことができる。
		博士後期課程
	D P	1. 世界的スケールで展開されてきた歴史的事象や日本国内において歴史的に繰り返されてきた種々の現象を深く究明し、その研究成果を社会や教育の場で生かすことができる。 2. 様々な地域的スケールで生じている社会、経済、文化的現象を空間的方法によって追究し、その研究成果を社会や教育の場で生かすことができる。
		II. Iの能力を備えて修了することを保証するための審査と審査の基準
D P	博士前期課程	
	博士前期課程において作成された修士論文が、以下1～3の内容基準に照らし合わせて十分条件を満足していること。 1. テーマ（問題）設定に論理的妥当性があり、先行研究の精査を踏まえ、テーマに適したデータ・資料が取り扱われている。 2. 信頼できるデータ・資料をもとに分析・解釈が妥当性をもって行われている。 3. 導き出された結論にオリジナリティがあり、学術的貢献度が高いと認められる。	